

平成26年度 CDS-JAPAN 北海道ブロック 研修会開催要項

主催：全国児童発達支援協議会（CDS JAPAN）北海道ブロック

テーマ： 「 発達の捉え—不現実の中に見る可能性 」
～大人のゆとり と その子らしさ との 関係～

現代の様々な支援の場面で、評価や科学的根拠が求められることがあります。子育てや保育、発達支援、教育にも分析と結果が求められています。また一方では子どもたちに“できなさ”を正す関わりの中で、障がいステレオタイプの医療モデルに当てはめて“ちがっている（まちがっている）ところ探し”をしていないでしょうか？また、それらがこどもの発達を捉えるうえで、どのように影響するのでしょうか？

間・ゆとり・あそびと言われる、時間や空間、関わりは、結果に直結しないようにみえますが、場を共有する私たち（大人側）に必要なものだと思います。

今回はお二人の講師をお招きし 子どものこころと身体の関係性を軸に、大人の側の関わるスタンスについてお話していただきたいと思います。また分科会では、日々の実践での悩みやうまくいかなさを大いに語り参加者の皆さんとゆるやかにつながりを持つ機会にしたいと思います。

ぜひ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1 日 時 平成26年6月21日（土）13：00～17：00（受付 12:30～13:00、交流会 18:00～）
6月22日（日） 9：10～12：40（受付 9:00～9:10）

2 会 場 千歳市総合福祉センター
（住所 北海道千歳市東雲町2丁目34 ☎0123-24-3131 ）

3 日 程

<1日目>

10:45 11:45 12:30 13:00 13:10

15:00 15:10

17:00 18:00

総 会 （ 会 員 ）	受 付	開 会 式	<講座1> 『動きの誕生と隙間の“自由”』 講師 熊谷 晋一郎氏	<講座2> 『“間主体性” から見える子どもの身体と発達、 そして自立』 講師 浜田 寿美男氏	交 流 会

<2日目>

9:00 9:10

9:40

12:40

受 付	<全体会> 報 告	<分科会 > テーマ「実践交流：関わり合って、育ち合う」

4 講義など（内容）

<1日目>

講座1（13：10～15：00）

会場～3F 403研修室

『動きの誕生と隙間の「自由」－“間身体性”ともう一つの発達論－』

講師 東京大学先端科学技術センター 特任講師(医師) 熊谷 晋一郎氏

講座2（15：10～17：00）

『“間主体性”から見える子どもの身体と発達－個体能力論と訓練・指導の課題にもふれて－』

講師 奈良女子大学名誉教授 立命館大学特別招聘教授 浜田 寿美男氏

交流会（18：00～20：00）

会場～ 未定

（千歳市内を予定しています）

<2日目>

全体会 報告

会場～3F 403研修室

「全国児童発達支援協議会活動報告」 報告者 北海道ブロック長 北川聡子（社会福祉法人麦の子会）

分科会

会場～和室 302,304,305,307,310

テーマ『 実践交流：関わり合っ、育ち合う 』

第1分科会 「遊びを通じた発達支援（知的、発達障害の子どもへの支援）」 ～会場：302

第2分科会 「遊びを通じた発達支援（肢体不自由の子どもへの支援）」 ～会場 307

第3分科会 「家族への支援」 ～会場 304・305

第4分科会 「相談支援」 ～会場 310

5 参加費 一般 5,000円、学生 2,000円、会員施設職員 1,000円

6 講座講師略歴

【浜田寿美男先生】

京都大学大学院文学研究科博士課程修了。発達心理学・法心理学者。兵庫県・川西市子どもの人権オンプズパーソン。発達心理学の批判的構築をめざす一方、冤罪事件での自白や目撃の心理に関心をよせ、それらの供述鑑定にも関わる。現在、奈良女子大学名誉教授。著書は、『ありのままを生きる』岩波書店（2009年に岩波現代文庫『障害と子どものかたち』と改題して刊行）、『意味世界から言葉へ』ミネルヴァ書房、『私のなかの他者』金子書房、『「私」とは何か』講談社選書メチエ、『自白の心理学』岩波書店、『赤ずきんと新しい狼のいる世界』共著 洋泉社、『子ども学序説』岩波書店、『子どもが巣立つということ』ジャパンマシニスト社など。

【熊谷晋一郎先生】

小児科医。新生児仮死の後遺症で、脳性まひに。以後、車いす生活となる。幼児期から中学生くらいまでのあいだ、毎日リハビリに明け暮れる。小中高と普通学校で統合教育を経験。大学在学中は地域での一人暮らしを経験。また、全国障害学生支援センターのスタッフとして、他の障害をもった学生たちとともに、高等教育支援活動をする。東京大学医学部卒業後、千葉西病院小児科、埼玉医科大学小児心臓科での勤務を経て、現在、東京大学先端科学技術研究センター特任講師。他の障害をもつ仲間との当事者研究に取り組んでいる。著書は『リハビリの夜』医学書院、『発達障害当事者研究：ゆっくりていねいにつなごりたい』共著 医学書院など。